



〈研究〉銀行ナル名辭ノ由来ニ就テ(7)

武藤, 長藏

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 25(2):267-278

(Issue Date)

1918-08

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00052921>



研 究

銀行ナル名辭ノ由來ニ就テ (其七)

長崎高等商業學校教授

商學士 武藤 長藏

十 一

「行」ナル文字ガ「店」特ニ「大ナル店」「大商店」又ハ「問屋」等ヲ意味スル場合アル事ヲ予ハ第一ニ主トシテ辭書又ハ語學書ニヨリ説明シ、第二ニ實際社會ニ用キラル、用例ヲ示シ、辭書其他ノ説明ト對照セシメントス。

元來「行」ナル文字ハ何ヲ意味スル乎、康熙字典ニハ「彳」部ニ集韻ニ「彳子ハ定之歩也」ト説明セリ。

文學博士上田萬年氏、岡田正之氏、飯田忠夫氏、榮田猛猪氏、飯田傳一氏等共編「大字典」中「行」ナル文字ノ字源ニ就テ記スル處ヲ其儘摘録シテ説明ニ代ヘントス。

「人の歩みゆく事イもすも人の歩む貌を象リし字にてイハ左足の歩む貌とすればイハ右足の歩む貌なり轉じてユクコト、ナスコト、フルマヒ等の義とし又軍隊等の並びゆく義より隊列、排列、次第、等輩等の義とす」云々。

予ハ右以上ニ「行」ノ漢字ノ起原等ヲ茲ニ研究叙述スルノ煩ヲ避クベシ。予ハ「行」ガ「店」大ナル店「大商店」及ビ「問屋」等ヲ意味スル場合アル事ヲ以下主トシテ辭書其他語學書ニ據リ研究セントス。

「行」ナル文字ガ號ト同ジク店ノ意ニ使用セラレ、他人ノ店ヲ寶號、貴號、貴行、實行ト稱シ、自分ノ店ヲ小號（弊號、弊行、小行）ト呼ブハ支那語ノ書物ニモ示ス處也。（大正三年東亞同文書院編纂華語萃編初集）

今左ニ主トシテ辭書ニ據リ「行」ナル文字ガ他ノ文字ト結び付き、店、大ナル店、大商店又ハ問屋等ト意味スル場合アル事ヲ示サントス。

一、「行店」ト云ハ Giles 氏ノ辭書ニハ Shops and houses of business ト説明セリ。

二、「行舖」ヲバ Rev. R. Morrison 氏辭書ニハ large mercantile houses and shops ト説明セリ。

三、「行家」ハ文學博士上田萬年氏、岡田正之氏、飯島忠夫氏、榮田猛猪氏、飯田傳一郎氏等共編ノ

「大字典」ニハ賣物ノ問屋トセリ。

文學士淺井虎夫氏編「支那日本通商史」第肆編第四節中第五款行家ト題シ次ノ如キ説明アリ。（ハシチヤ）

「行家ハ問屋ナリ又舖行トモイヘリ行家ハ又行戸トイヒ多ク某行ト稱スルモノハ皆此行戸ナリ例ヘバ米問屋ヲ米行トイヒ魚問屋ヲ魚行トイヘルガ如シ名物六帖ニハ行家モ舖行ナ「ミセウリ」ト訓ジタレ共學語篇國字解共ニ「ヤロヤ」ト訓セリ後者正トスベシ。」

右淺井氏ノ行家ニ就テノ説明ハ S. Wells Williams 氏ハ A Syllabic Dictionary of the Chinese Language 中「行」ノ部ニ

同行 or 行家 of the same craft

ト説明セシト一致セズ。

四、「行商」トハ支那特ニ廣東ニテハ卸賣商、外國貿易商、「行」即チ Guild ニ加入シタル商人ノ意アリ。

Rev. R. Morrison ノ辭書ニテハ行商 (Hang Shang) ナズ a wholesale merchant; one belonging to a company licensed by the government, such as those at Canton for foreign trade; who are called 洋行商 Yang hang shang, or foreign merchants, to distinguish them from the salt and other Hang or Companies of Merchants, ト説明セリ。

S. Wells Williams 氏ノ辭書ニハ a trader in a Guild ト記ス。(Giles ノ辭書ニハ洋行 ナタム a foreign hang or firm ト記スルノミ)。

Giles ノ辭書ニハ行商 ナタム Merchants ト説明セルニ過ギズ。此行商ナル文字ガ我國ニ於テ物品ヲ攜帶シテ賣リ歩ク事ヲ意味スルハ説明ヲ要セズ。サレバ文學博士上田萬年氏等共編大字典ニ「(行商) ハ物品ヲ携ヘテ賣リアルクモノ旅商人(行販) (行買) 等ハ行商ニ同ジキ事ヲ記ス。

Rev. W. Lobscheid 氏著英華字典ニ我國ニ所謂行商即チ英語ノ Pedler ナバ支那語ニテ販仔、擔頭トセリ。販仔ニ就テハ臨時臺灣實業調查會第一部調査第三回報書臺灣私法第三編上卷第二章第四節商人ノ種類中ニ之ヲ説明シ卸賣旅商人ナリトセリ、販仔ハ一ニ之ヲ走ホト稱スト記ス。

根岸佑君著「清國商業綜覽」第一卷第一章大商小商及行商ト題スル其行商ハ我國ニ所謂行商ノ意也。支那ニ所謂行商 (Hang shang) ノ意ニアラズ、根岸君ガ此區別ニ就テ一言スル處ナカリシハ遺憾ナラズヤ。

五、「行棧」Giles ニモ N. A. godown; a public warehouse ト記ス。

上海ニテハ棧房ト稱ス、詳ナルハ明治三十七年六月(非賣品)印刷上海東亞同文書院清國商業慣習及金融事情其他參照。

行棧ハ恰モ我國ノ仲買商ノ如キ業務ヲナシ賣買業者双方ノ人ヲ宿泊セシム又行棧ハ貨物ノ保管ヲナス(善生永助著最近支那經濟

第五章第一節(二) 商賈ノ種類ノ參ノ部分參照)。

今支那ニ於テ實際社會ニ用サラル、例ヲ少シク左ニ示サントス。

上海ニテ糧行又ハ糧行ト云ヘバ米問屋也。廣東ニテ「行」ハ組合ノ意味ト又個々ノ問屋ノ意味ニ混同シテ使用サル、モノ、如シ。

東亞同文會ノ支那省別全誌第一卷廣東省附香港澳門第十編組合及問屋ノ部ヲ見ルニ此「行」ノ意義ガ「組合」ヲ意味スル場合ト問屋ヲ意味スル場合トヲ明確ニ區別スル事ナク亂雜ニ説明シアルヲ見ル。例ヘバ廣東ニ於ケル七十二行ノ一タル米行永安堂ノ説明ニ

「米穀問屋ニシテ一名米埠ト云フ輸入ノ米ハ蕪湖鎮江ヨリ來ルモノヲ第一トシ廣西安徽コレニツギ外國ヨリ來ルモノ安南暹羅等コレニツグ。二百五十家餘アリ。」

トセリ。コノ説明ニヨレバ「米行」トハ米穀問屋トシテノ米行ニシテ米穀問屋ノ組合(Co-operative)トシテノ米行ニ就テ云ハザルモノ、如シ、而モ米行ガ、銀行、金行、當行等ト同シク七十二行ノ一タルハ Unit トシテニアラズヤ。

次ニ此同文會ノ支那省別全誌ニ掲グル廣東ニ於ケル平碼頭行又ハ平碼頭ニ就テノ説明モ平碼頭行又ハ平碼頭トハ問屋ノ意也。蓋シ平碼頭ハ文字上ヨリ云ヘバ秤ニシテ問屋ハ買手ト賣手トノ仲介ヲナスガ故也ト云フ事、又取扱商品ノ範圍組織等ノ説明アレドモ此平碼頭ハ前述ベラレシ七十二行トノ干係不明瞭也。又香港ニ於ケル南北行、九八行ニ就テモ廣東ノ平碼頭ト同シク問屋ナルガ如ク最初ニ説明シ(第九百八十五頁)後ニ香港ニ於ケル問屋ノ題トニ南北行及九八行ヲ問屋業者間ノ公所即チ組合トシテノ南北行及九八行ヲ説明セリ。コノ問屋ト組合トノ干係ノ名稱上ノ混同ニ就テハ予ハ前節ニモ述ベシ處ナルガ、今亦コ、ニ繰返シテ注意ヲ促サントス。

次ニ廣ク支那各地ニ存在スル「牙行」ナルモノハ一種ノ仲買人也。報關行ハ通關手續ヲナス仲立人即チ Customs broker 又運送ノ取次ヲナス廻漕問屋ノ如キ仕事ヲナスモノ也。

報關行ニ外ナラザレドモ四川省ニ出入スル貨物ニ就テ通關手續ト運送取次ヲ業トスルモノコレヲ渝行ト云フ。渝ハ四川省重慶ノ別名也。

漢口ニテハ鹽行、茶行、藥材行、廣福雜貨行、油行、糧食行、棉花行、紙行（或ハ其代ニ皮行）

ヲ八大行ト稱スト云フ。（上海東亞同文書院編清國商業慣習及金融事情 第三編第三漢口ニ於ケル名行及ビ市場參照。）

外國人ノ商店ヲ洋行ト云フ事ハ先ニモ之ヲ述ベ、又今ハ廣ク知ラレテ説明ヲ要セザル事柄ナルガ

洋行商ハ最初ハ廣東ニ於ケル hang merchant ヲ意味セリ（Eitel 氏廣東語辭書參照）。

又長崎縣立師範學校所藏千八百六十五年出版ノ Rev. R. Morrison ノ五車韻府（A Dictionary of the Chinese Language）ノ行（Hang）ノ部ニ

洋行商 Yán-hang-shang, or foreign merchants, to distinguish them from the Salt and other Hang or Companies of Merchants.

ト説明セシハ注意ヲ要スベシ。

明治三十七年六月印刷上海東亞同文書院ノ清國商業慣習及金融事情第一卷 清國商業慣習 第一章 商業ノ種類 第一節「取

扱貨物ニヨリテ別ル、商業ノ種類」ト題スル始メニ曰ク

「人若シ支那人ニ向ツテ貴國ノ商業ノ種類ハ大概子幾種類位ニ別ル、ヤト問テ發スル時支那人ハ之ニ答ヘテ曰ハン天下ノ生意ヲ營ムモノ其數三百六十行アリト是レ何レノ支那人モ符節ヲ合スルガ如クニ與フル處ノ答辯ニシテ行トハ一業ヲ意味シ三百六十行トハ三百六十種ノ商業アリトノ意味ナリトス。」

Herbert A. Giles ノ A Chinese-English Dictionary 「行」ノ部ノ中ニ

行業 or 行當兒 Occupation; Calling; Craft

トアルニ對比スベキニアラズヤ。

(コノ行業ナル名辭ハ予之ヲ「類書纂要」中ニモ見タルヤニ記憶スレド此書手許ニナク確ナラズ)

(註) 今序ナガラ公所會館等 Guild ニ就テ次ニ略説スベシ。

會館トハ同郷人ノ團體組合ニシテ例ヘバ湖南會館ト云フガ如シ。公所トハ一地方同業者ノ組合也。例ヘバ錢業公所又滙業公所、銀樓公所、木行公所、酒館公所、梨園公所ト云フガ如シ。但シ此名稱區別ハ絶對的ニ明確ナリト云フヲ得ズ。何トナレバ實例ヲ見ルニ前述ノ區別標準ニヨレバ會館ト稱スベキ筈ナルニ其實公所ノ名稱ヲ附スルアリ、例ヘバ江寧府同郷人ノ組合ハ其性質前述ノ名稱區分法ニヨレバ江寧會館ト呼ブベキ筈ナルニ江寧公所ト稱スルガ如シ。

又反對ノ例ヲ示サバ、絲業會、茶業會館等本來ハ公所ト呼ブベキ筈ナルニ會館ト稱スルガ如シ。(文學士大村欣一氏著支那政治地理誌上卷第十二章第三節會館公所ノ部參照)

日本ノ横濱、神戸、長崎、大阪等ニ於ケル支那人ノ團體トシテノ會館公所ニ就テハ大正二年正月東亞同文會發行雜誌「支那」所載「日本ニ於ケル支那商人」參照。

(附註) 臨時臺灣舊慣調查會第一部調査第三回報告書臺灣私法第三編(上卷)第一章第三節郊第一款第一項郊ノ性質ト題シ其ハジメニ曰ク

支那ニ於テハ商人團體ニ對シ會館公所帮又ハ郊等數種ノ名稱アリト雖モ廈門臺灣ニ於テハ通常郊ト稱スル起原明ナラズ郊ノ字義ニ就キ古典ヲ按ズルニ説文ニ「距國百里爲郊」爾雅釋地ニ「邑外謂之郊」周禮地官載師ニ「近郊遠郊」ナル文字アリ其註ニ「五十里爲近郊百里爲遠郊」又書ノ費誓ニ「魯人三郊三遂」ナル文字アリ云々ト記ス。

以上予ハ煩ヲ厭ハズ「行」ナル文字ノ結び付キタル名辭ニ就テ、又「行」ナル文字其物ニ就テ、各種ノ辭書ニ記スル處ヲ比較研究シ、又支那各地方實際社會ニ於ケル用例ヲ示セリ。コレ支那ニ於テ個々ノ Bank ヲ銀行ト呼ブ由來ヲ確ムル爲メ豫備的智識ヲ與フル材料ヲ整理センガ爲也。

讀者ハ予ガ掲ゲタル多クノ例ニ於テ、個々ノ Bank ヲ銀行ト呼ブモ理論上差支ナキヲ知ラン。

十二

支那固有ノ銀行ノ分類其名稱ヲ左ニ示サントス。

(1) 根岸信氏ハ曾テ其編纂セシ清國商業綜覽第四卷第五編清國貨幣及銀行第一章總論第三節銀行ト題スル内ニ、支那銀行ノ淵源ニ四アリ、爲替、兌換券發行、兩替、官金出納是也、コ、ニ於テ乎現時ノ支那銀行モ之ヲ四ツニ大別シ得ベシトナシ、

(一) 滙兌莊、爲替ヲ本業トスルモノ

(二) 銀號又ハ錢莊、普通ノ商業銀行ニシテ主トシテ兌換券ヲ發行ニヨリ利ヲ營ム

(三) 錢舖、錢莊又ハ零兌、兩替ヲ本業トス

(四) 官銀號、關稅其他ノ官金ヲ取扱フモノ

ト四種ニ分テリ。

次ニ根岸氏ハ第一款錢莊(銀號)ト題スルハジメニ曰ク、

「支那商業銀行ハ之ヲ總稱シテ錢莊ト曰フ之ヲ大別スレバ二トナル一ハ同業組合チ有シ堂々タル一方ノ金融機關タルモノ二ハ同業組合チ有セズ前者ノ遺利ヲ拾フコトナカマルモノ是レ也地方ニヨリ前者ヲ錢莊ト稱シ後者ヲ錢舖ト稱シ時トシテ前者ハ銀號ト呼ビ後者ヲ錢莊ト呼ブコトアリ上海ニテハ前者ヲ滙劃ト名ケ後者ヲ更ニ二細別シ挑打、零兌ト爲ス挑打ヲ除キ零兌、錢舖等同業組合チ有セザルモノハ銀行業務ヲ取扱ハザルニアラザルモノ兩替ヲ主トスレバ之ヲ商業銀行以外ニ講究スルチ便トス。」

(2) John C. Ferguson 氏ハ曾テ千九百六年度ノ Journal of the North-China Branch of the Royal Asiatic Society 誌上其論文「上海ニ於ケル支那銀行制度」(Chinese Banking System in Shanghai)

中ニ上海ニ於ケル支那銀行ヲ左ノ如ク區分セリ。

- (1) Official Banks 即チ官銀號 (Kwan Yin Hiao)
 - (2) Exchange Banks 即チ匯票行 (Hwei Piao Hangs) 山西票號、即チ夫也
 - (3) Cash Shops タル錢莊 (T sien Chwang) 又ハ錢舖 (Tsen Pu)
- 右ノ如ク三區分ヲナシ根岸君ノ如ク四ツニ區分セザレドモ (3)ノ Cash Shops 中ニハ兩替ノミヲ營ム Small Cash Shops ト又一般ノ銀行業務ヲ營ム Large Cash Shops ヲ包含ストセリ。
- (3) 支那海關十年 (1892—1901) 報告第一卷 [Decennial Reports 1892—1901 vol. I.] ニハ上海ノ支那銀行ヲ

- (一) the draft or shansi banks, known as Hsi Pang (西幣)
 - (二) the local bank, or Chien Chung (錢莊)
 - (三) the Cash shops, or Chien Pu (錢舖)
- ニ區分セリ。

(4) 本誌第二十二卷第二號所載黃英黃氏ノ「山西票號」ニハ支那ニ於ケル舊式金融機關ノ種類ヲ

a. 山西票號 b. 錢莊 c. 官銀號 d. 錢舖 e. 當舖

ト五ツニ分テリ。黃英黃氏ハ根岸氏及山口氏等ト異リ錢莊ノ外ニ錢舖ヲ認メ錢舖(零兌)トセリ。

以上ハ支那全體ニ亘リ概括的ニ支那固有ノ銀行(但シ銀行ト呼バズ)兩替業ノ種類名稱ヲ示シタルモノナルガ

支那各地其ニ事情ヲ異ニシ、甲ノ地方ニ存在スルモノ他ノ地方ニ存セズ、又名稱意義ヲ異ニスルモノアリ、故ニ以下上海各地ニツキ略述セントス。

根岸氏ハ上海ニ於ケル錢莊ニハ滙劃莊、挑打、零兌ノ三種アリ、滙劃莊ハ手形交換組合仲間銀行ノ謂ニシテ、挑打、零兌ハコレニ加ハラザル者也。ト説明セリ。

大正三年八月一日東亞同文會調查編纂部發行雜誌「支那」第五卷第十五號所載「上海ノ錢莊及錢業條規」ト題スル上海、山口生（多分東亞同文書院卒業生山口昇吉ナラン）調査論文ヲ見ルニ

「錢莊ハ滙劃、挑打、零兌ノ三種ニ分ツ、滙劃武藤（曰ク嚴密ニ云ヘバ滙劃莊ト云フベキ也）ハ資本信用等比較的大ニシテ滙劃總會即チ手形交換所ニ加入セルモノナリ挑打ハ滙劃ニ次グモノナルモ零兌同滙劃總會ニハ加入セザルモノナリ零兌ハ銀錢ノ小額ヲ兩替スルノミニテ何等云フベキナシ。」

ト云ヘリ、即チ大體根岸氏ト同ジタ、手形交換所ニ當ルベキモノヲ根岸氏ハ其著書中ニ錢行ト云ヒシニ對シ山口氏ハ滙劃總會ト呼ビシハ相違セリ。

支那固有ノ舊式錢業者間ノ組合 Bankers' Guild ヲバ上海ニテハ錢業公所ト云フ事ハ根岸氏ノ著書ニ記スル處也。

山口氏ハ

「上海ノ錢業公所ニ數種アル事ヲ述ベ南園（城內）ニアルモノハ南北兩市錢業者ノ總公所ナリ毎年正月十三日第一回ヲ開會シテ南北錢業公所ノ事ニ關シテ協議ス此外南北兩市ニ各一ノ錢業會館アリ又錢業商處ナルモノアリ南北兩市ノ錢業者ガ輕微ノコトヲ議決スル處ナリ即チ通常錢行（金融）ハ午前及午後ノ二市ニシテ名錢莊會商シテ銀錢洋價銀洋實買款項往來等ヲナス。」

ト述ベ、次ニ錢業條規ト題シ 中華民國二年 上海南北市錢莊組合規則ノ日本譯文ヲ掲ゲタリ。コノ錢莊組合ナル語ハ Bankers' Guild ノ新シキ日本譯語ト見ルベキ乎。

支那固有ノ金融業者間ニ所謂手形交換行ハレ手形交換所 (Clearing-house) ニ當ルモノ存在ス。根

岸氏ノ說ニヨレバ上海ニテ錢行ト稱スルハ即チ夫也。

上海ノ錢行ニ就テ根岸氏編纂清國商業綜覽第四卷第五編清國貨幣及銀行第二章第一節上海第九項公所及錢行ト題スル内ニ述ベテ曰ク

錢莊同業者營業上ノ機關之ヲ錢行ト云フ滙劃銀兩ノ折票貸借及ビ洋銀ノ賣買ヲナス會所ナリ南北兩市各一ヶ所ヲ設ク北市ハ寧波路青蓮里ニアリ。

右根岸氏ノ説明中ニ所謂滙劃トハ手形交換ヲ意味ス故ニ錢行ハ我手形交換所 (Clearing-house) トシテ役立ツモノ也。折票ハ英語ノ所謂 Chop Loan ニシテ外國銀行カ錢莊ニ對シテ貸出ス一種ノ信用貸ナリ。

右引用セシ如ク根岸君ノ説明ニテ錢行ハ手形交換所 (Clearing-house) ナンドモ前ニ引用セシ山口氏ノ文中ニ所謂「錢行」ハ別ノ意味ト解セザルヲ得ズ。

錢行ヲバ Giles ノ辭書ニハ

錢行 (hang?) the Market price of Cash; a bank
トセリ。

錢舖 or 錢莊 a money-changer's; a bank

手形交換ニ加盟スル錢莊ヲ上海ニテ滙劃莊ト稱スソハ上海ニテ手形交換ノコトヲ滙劃ト呼ブガ故也。

根岸氏編纂清國商業綜覽第五編第二章第一節上海第九款南市金融事情第一項錢莊第十同業組合ト題スルハジメニ「同業組合ヲ滙劃ト云フ公所アリ、云々」ト記ス。サレド思フニコレ誤ニシテ滙劃

ハ手形交換ノ意ニシテ滙割即チ公所トハ意味通セズ書誤ナルベシ。

滙 A bank draft

滙割ナメ Giles 氏 bank drafts トナリ。

又、滙銀行 or 滙兌局 an exchange office トナリ。

S. Wells Williams 氏ノ辭書ニ、滙割ナメ滙單又ハ滙票ト同シク an order for money; a bank check; a letter of credit トナリ。
滙銀行ハ滙兌局ト同シク a bank; a discount office トナリ。

右ニ示セシ如ク Giles 及 Williams 氏ノ辭書ニハ滙銀行ナル名辭アレドモコハ古キモノニアラズ。西曆千八百六十六年香港出版ノ英華字典ニ滙理銀行トアリ Hongkong Shanghai Bank Corporation ヲ滙豐銀行ト云フ如ク滙ナル文字ヲ銀行ナル文字ト組合セタルモノナルベシ。

銀爐ハ一ニコレヲ爐房 (Lu Fang) ト稱ス。北京、天津、營口、上海、漢口等ニアリ。北部支那ニ多ク存シ主トシテ他地方ノ各種ノ銀塊ヲ其地ノ元寶銀 (馬蹄銀) ニ改鑄ヲ専門ノ業トシ、兼テ銀行ノ他ノ業務ヲナスモノヲ云フ。上海ニ於ケル銀爐ノ組合ヲ傾銀公所ト云フ。

營口ノ銀爐即チ爐房 (Lu Fang) ニ於ケル帳簿上ノ振替ニヨリ貸借ヲ決濟スル過爐銀 (Kuo-lu yig)

[New Chuwang Transfer Money (Market Money)] ハ、アダムスミスノ富國論中ニアル Bank of Amsterdam ノ所謂 Bank Money ノ比較研究ハ興味アル問題ナレドモ學術的ニ十分ノ研究ヲ遂ゲタルモノアルヲ聞カズ。予モ亦往年 (歐洲留學前) コレガ比較研究ヲ志シ滿洲旅行ノ際、營口ニ滞在調査セシ事アリシガ學界ニ公表スベキ成果ヲ得ズシテ終レリ。

H. B. Morse 氏 The Trade and Administration of the Chinese Empire 中 Newchwang Transfer Money ト題ベキ中ニ

One currency practice, recalling the "bank money" of the old Amsterdamsche Wisselbank, must be referred to 1 記スル
ノミニテ深ク比較對照セシ研究錄ヲ示サズ。

我國ニ De Amsterdamsche bank ナ「アムステルダム」ノ「ベンク」Wissel bank ナ「金銀ヲ預リ置イテ爲替ヲ取組ム座」ト譯セシ
例ハ和蘭字集ニ之ヲ見ル。

支那固有ノ爲替銀行ハ票莖、滙票行又ハ滙兌票局トモ稱ス、山雨票莊又ハ山西票莊、或ハ又西幫
(Hsi pang) 等ノ名稱ハ山雨人ガ經營スルガ故也。

根岸佶氏編纂清國商業綜覽第四卷第五編清國貨幣及銀行第三章南清之部第一節廣東第三項銀號ニ
曰ク、

廣東普通ノ商業銀行ハ之ヲ錢莊ト稱セズシテ銀號ト稱ス銀號ニ二種アリ、一ハ同業組合ヲ有スルモノニシテ之ヲ入行銀號又ハ傾
銷銀號ト名ケ、二ハ同業組合ヲ有セザルモノニシテ炒賣銀號ト名ク。

廣東ノ支那固有ノ Bank 又其組合ノ事ハ前號所載原稿ニコレヲ述ベクリ Bankers' Guild ヲ銀行
ト呼ブ事亦前號ニ之ヲ述ベタリ。

個々ノ Bank ニ當ルベキ支那語ノ名辭ガ此ノ如ク多ク支那語ニ存スルニ拘ラズ、個々ノ Bank ト
シテノ支那語中ニ「銀行」ナル名辭ノ其中ニ加ハリ居ラザルヲ見ル。予ハ節ヲ改メテ支那ニ於ケル
銀行ナル名辭ノ由來ニ就テ、又此研究錄全體ノ結論ヲ述ベントス。(未完)